

改革の重要要件：財源の問題を表面化させること (国や構想会議などが目を閉ざし避けて通る・・・)

何故、病院運営にとって適正化(病床減)が出来ないのか？

(⇒支出に見合う収入が必要だから)

- ◎従業している労働者(スタッフ)の生活を守らねばならない(雇用の維持・給与の支給・生活保障⇒労働問題)。
- ◎土地・建物・設備等の投資(借財)を回収(返済)しなければならない。
- ◎次の再投資(建物・設備等)への積立準備をしなければならない。

だから少なくとも・・・⇒一床あたりで他科(身体科)の医療費同等以上の収入が必要である。

- ・ハードウェア (土地・建物・設備ほか)
- ・ソフトウェア (治療技能・治療システムほか)
- ・ヒューマンウェア(人材・人員ほか)

どれをとってもレベルアップするためには財源が必要！！

では・・・「どんな風になりたいのか？」

「どのような医療サービスの提供を望むのか？」

……それでは、その財源をどうするのか？

～ 財源なくして改革なし ～

声高く、ちゃんと
主張・要求しよう

31

戦略ビジョンとは到達目標とプロセスである。



山頂に到達するには、いくつかの登攀ルートがあるが、最終地はひとつである。

32

どのようなルートを選ぶかは選択の問題



33

エベレスト・デスゾーン (over 8000m) の遺骸たち



精神医療に関わる者たちが、死に絶えては、改革は失敗である。患者や障害者にも不利益は与えない。改革の犠牲は出さない。

34

3C プログラム（がんばろう精神医療改革！）



植村直己初登頂1970



かわる(CHANGE)・かえる(CHALLENGE)・かける(COST)